

令和4年度

事業報告書

令和5年6月

一般社団法人 日本私立歯科大学協会

令和4年度事業報告及び収支決算報告（案）

目 次

I 事業報告

1. 個別事項

(1) 歯科医療提供体制等に関する検討会について	3
(2) 歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に関する連絡調整委員会について	3
(3) 歯科医師国家試験について	4
(4) 歯学教育評価について	4
(5) 共用試験の公的化について	5
(6) 附属病院の感染対策について	6
(7) 「広報戦略」事業、第13回歯科プレスセミナーについて	7
(8) 私立歯科大学（学部）の財政等の現状について（令和3年版）	8
(9) 広報発行（第84号・第85号）について	8
(10) 受験生確保対策事業について	
① 受験生確保対策委員会	9
② 高等学校等への入試関係資料の送付	9
③ 「医歯薬進学5月号」への広告掲載	9
④ 「医療系大学データブック2023」への寄稿	9
⑤ 協会ホームページによるPR	9
⑥ 高校生向け冊子「歯学部へ行こう!!」の配布	9
⑦ 入学志願者の状況調査等	10
(11) 第84回私立大学歯学部学生生活協議会について	11
(12) 研修事業について	
① 第43回附属病院管理運営事務研修会	11
② 第15回事務職員研修	12
(13) 新型コロナウイルス感染症への対応について	
① 私立歯科大学・歯学部におけるワクチン3回目接種の進行状況調査	12
② 日本歯科医師会が実施する「歯科医師によるワクチン接種」実績調査への協力	12
(14) 災害歯科保健医療連絡協議会について	12
(15) 日本私立歯科大学協会賛助会員の退会について	13
(16) 日本私立歯科大学協会後援名義使用許可等について	13
(17) 私学関係諸団体との提携・協力及び援助について	14

2. 会 議

(1) 総 会

・ 第94回定時総会（R4.6.29）	19
・ 第95回臨時総会（R5.3.23）	21

(2) 理事会	
・第1回 (R4. 5. 24)	25
・第2回 (R4. 6. 29)	27
・第3回 (R4. 11. 25)	29
・第4回 (R5. 2. 20)	33
・第5回 (R5. 3. 23)	36
(3) 部会・委員会	
①教育・研究部会	
・第1回 (R4. 12. 15)	39
②病院部会	
・第1回 (R5. 3. 17)	39
③経営部会	
・第1回 (R4. 12. 7)	39
④広報委員会	
・第1回 (R4. 7. 7)	40
⑤受験生確保対策委員会	
・第1回 (R4. 4. 27)	40
⑥研修委員会	
・第1回 (R4. 7. 15)	41
⑦附属病院感染対策協議会	
・第1 4回 (R5. 3. 9)	41
⑧第84回私立大学歯学部学生生活協議会 (R4. 9. 29～30)	41
(4) 事務局長会議	
・第1回 (R4. 5. 14～15)	42
・第2回 (R5. 2. 13)	42
(5) 研修会	
①第43回附属病院管理運営事務研修会 (R4. 10. 20)	43
②第15回事務職員研修 (R4. 11. 14)	43
II 収支決算—令和4年度日本私立歯科大学協会収支決算報告書	45
III 令和5年度日本私立歯科大学協会事業計画	56
IV 令和5年度日本私立歯科大学協会収支予算	59
V 日本私立歯科大学協会役員名簿	61
VI 正会員の入会・退会及び会員名簿	62
VII 資料	
1. 私立歯科大学・歯学部募集人員の推移	64
2. 令和4年度入試結果	65
3. 令和5年度私立歯科大学・歯学部入学者選抜実施計画表	66
4. 私立歯科大学・歯学部学費一覧	67
5. 令和5年度入学志願者・受験者状況 (中間状況)	68

I 事業報告

1. 個別事項

(1) 歯科医療提供体制等に関する検討会について

1. 第2回理事会（R3.6.29、ハイブリット会議）及び第94回定時総会（R3.6.29、WEB会議）において、一戸常務理事から資料により、6月8日に開催された、第7回歯科医療提供体制等に関する検討会について、新しい歯科保健医療ビジョン案の作成に時間を要しており、その作成後に、需給の問題の議論に入ることとなっているとの説明があった。
2. 第95回臨時総会（R5.3.23、WEB会議）において、一戸常務理事から、資料の議事録にある、昨年6月8日以降、検討会が開催されておらず、今後、新しい歯科保健医療ビジョンが提示され、その後、需給の検討が開始されることとなるとの説明があった。

(2) 歯学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に関する連絡調整委員会について

1. 第1回理事会（R4.5.24、ハイブリット会議）において、三浦会長から資料により、5月11日に開催された、第3回委員会において、医学教育及び歯学教育モデル・コア・カリキュラムの素案が提示され、各委員から素案についての意見が出され、意見を踏まえて次回第4回の委員会で修正案が示され、審議する予定となっていること、その後、夏頃、パブリック・コメントを実施、7月27日に開催される「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」で報告・意見交換を行い、冬頃、第5回の委員会でモデル・コア・カリキュラムを決定、冬頃、改訂版モデル・コア・カリキュラムを公表、大学等へ通知し、周知期間を経て、令和6年度入学生から適用というスケジュールになっているとの説明があった。
2. 第3回理事会（R4.11.25、WEB会議）において、三浦会長から資料により、7月13日に開催された第4回委員会及び11月7日に開催された第5回委員会の概要について説明があり、委員会での意見を踏まえて、微修正の後、改訂版モデル・コア・カリキュラムが公表されることとなっているとの説明があった。
3. 第4回理事会（R5.2.20、WEB会議）において、藤井副会長から、日本歯科医学教育学会が1月16日に開催した「歯学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂周知のためのシンポジウム」の動画が近日中に、学会ホームページの会員ページから見るができるように、YouTubeにアップされるので、ぜひ、視聴していただきたいとの情報提供があった。

4. 第95回臨時総会（R5.3.23、WEB会議）において、三浦会長から、昨年「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」が改訂され、令和5年度を周知期間とし、令和6年度入学者から適用されるとの説明があった。

総会終了後、文部科学省高等教育局医学教育課企画官 堀岡伸彦氏による、「歯学教育の動向等について」と題した、「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」の改訂を主とする講演が行われ、総会出席者の他、会員校の教職員19人が出席した。

（3） 歯科医師国家試験について

1. 令和5年1月28日及び29日に実施された、第116回歯科医師国家試験の不適切な問題について、各大学から厚生労働省に提出した意見を、令和5年2月15日及び2月22日の2回に分けて、協会からも会長名で厚生労働省に意見を提出した。

2. 第5回理事会（R5.3.23、WEB会議）及び第95回臨時総会（R4.3.23、WEB会議）において、3月16日に合格発表された、第116回歯科医師国家試験の結果について、川島総務課長から資料により、説明があった。

また、合格発表当日には、厚労省から合格発表資料を入手し、直ちに、会員校にメールで情報提供した。

【第116回】

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,383人	1,919人	1,483人	77.3%
全体	3,669人	3,157人	2,006人	63.5%

(昨年の状況)

【第115回】

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,413人	1,999人	1,542人	77.1%
全体	3,667人	3,198人	1,969人	61.6%

（4） 歯学教育評価について

1. 第3回理事会（R4.11.25、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、歯学教育評価の受審年度について、昭和大学歯学部が2024年度から2026年度に変更になったこと及び検討中であった東京歯科大学が2025年度に申請予定になったとの説明があった。

引き続き、藤井副会長から、本年度受審中の日本歯科大学新潟生命歯学部の状況について、一昨年、日本歯科大学生命歯学部が受けたトライアル時と大きく変わらないが、多少、ブラッシュアップされていること、受審時に特段困っ

た点はなかったこと及び募集人数の充足状況、最短在学年数での卒業生数などについて質問があったことなどの情報提供があった。

2. 第4回理事会（R5.2.20、WEB会議）において、羽村専務理事から、歯学教育評価の評価者の推薦を各大学に依頼したところ、私立歯科大学・歯学部については、全大学等から2名の推薦をいただいたことについて、謝辞があった。

3. 第95回臨時総会（R5.3.23、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、歯学教育評価についての申請時期及び令和4年度は、長崎大学歯学部、鹿児島大学歯学部及び日本歯科大学新潟生命歯学部が受審中であるとの説明があった。

（5）共用試験の公的化について

1. 第3回理事会（R4.11.25、WEB会議）において、三浦会長から、厚生労働省医政局歯科保健課より、歯学系共用試験の公的化に向けた検討を進めるにあたって、医道審議会歯科医師分科会に歯学生共用試験部会を設置するので、協会から委員2名を推薦してほしいとの依頼があり、委員として、藤井副会長と一戸常務理事を推薦したいとの提案があり、これを承認した。

2. 第4回理事会（R5.2.20、WEB会議）において、三浦会長から、厚生労働省医道審議会歯科医師分科会歯学生共用試験部会への委員の推薦について、前回第3回理事会においてご承認いただき、藤井副会長と一戸常務理事を推薦したところ、厚生労働省歯科保健課から一戸先生は、親委員会の委員になっているので、別の方を推薦してほしいとの連絡があり、既にメールでもお知らせし、内諾いただいているとおり、一戸先生に替わって、櫻井常務理事を推薦したとの説明があった。

については、理事会で承認されたことを変更したので、手続き上、追認をお願いしたいとの発言があり、これを追認した。

次いで、一戸常務理事から、第1回会議が、3月27日に開催されることとなっているとの説明があった。

また、三浦会長から資料により、歯科大学学長・歯学部長会議において、文部科学省高等教育局長、厚生労働省医政局長、医療系大学間共用試験実施評価機構理事長宛の、「共用試験公的化の実施に関する要望書」を1月10日に、同会議常置委員会の委員である三浦委員長、藤井委員及び前田委員（新潟大学歯学部長）並びに来年度同会議主管校、東京歯科大学の一戸学長の4人で提出したとの報告があった。

さらに、三浦会長から資料により、OSCEの在り方・評価者養成に係る調査・実証事業推進会議への陪席依頼が、歯科大学学長・歯学部長会議常置委員会委員長宛に、医療系大学間共用試験実施評価機構からあり、同会議常置委員会で協議して、藤井委員に出席していただくこととしたとの報告があった。

加えて、藤井副会長から、2月17日に開催された同推進会議の概要及び4月10日に、医療系大学間共用試験実施評価機構による、説明の場が設けられることの説明があった。

3. 第5回理事会（R5.3.23、WEB会議）において、藤井副会長から、先般、日本歯科大学生命歯学部において、医療系大学間共用試験実施評価機構による、モデルOSCEが実施されるなど、共用試験の公的化に向けての準備が進められていること等の説明があった。

4. 第95回臨時総会（R5.3.23、WEB会議）において、藤井副会長から、医療系大学間共用試験実施評価機構の「OSCEの在り方・評価者養成に係る調査・実証事業推進会議」において、共用試験公的化に向けた検討が行われていることなどの説明があった。

また、一戸常務理事から資料により、3月27日に、厚生労働省医道審議会歯科医師分科会歯学生共用試験部会の第1回会議が開催されること並びに、これに関連して、歯科大学学長・歯学部長会議から、文部科学省、厚生労働省及び医療系大学間共用試験実施評価機構宛に、情報共有を十分に行うこと、必要な財政支援を行うこと、評価者の質の向上・評価基準の確立をすることを内容とした、「共用試験公的化の実施に関する要望書」を提出したとの説明があった。

（6）附属病院の感染対策について

1. 第14回私立医科大学病院感染対策協議会総会（R4.7.23、ハイブリッド会議）が、昭和大学が当番校となり開催され、本協会から昭和大学歯学部の代田達夫先生、日本歯科大学生命歯学部の石垣佳希先生が代表として出席した。

2. 第24回国公立大学附属病院感染対策協議会（R4.11.21、ハイブリッド会議）が、山形大学が当番校となり開催され、本協会から岩手大学歯学部の八重柏隆先生が代表として出席した。

3. 第14回附属病院感染対策協議会（R5.3.9、WEB会議）を開催し、第14回私立医科大学病院感染対策協議会総会の概要について、日本歯科大学生命歯学部の石垣先生から、また、第24回国公立大学附属病院感染対策協議会の概要について、岩手医科大学歯学部の八重柏先生から、報告があった。

引き続き、令和5年1月に実施した、「歯科診療における院内感染対策に関するアンケート調査結果について」のアンケートの取りまとめを担当した、岩手医科大学の八重柏 隆先生及び朝日大学歯学部の安田 順一先生から説明があった。

なお、協議会には、文部科学省高等教育局医学教育課医学教育課専門官 櫻田京子氏、国公立大学附属病院感染対策協議会会長 青木洋介氏、同協議会歯科医療部会委員長 太田耕司氏及び私立医科大学病院感染対策協議会議長 三嶋廣繁氏、事務局長 中澤 靖氏に来賓として出席していただき、助言などをいただいた。

4. 第5回理事会（R5.3.23、WEB会議）及び第95回臨時総会（R5.3.23、WEB会議）において、榎常務理事から、資料により、第14回附属病院感染対策協議会を3月9日に開催し、私立医科大学病院感染対策協議会総会、国公立大学附属病院感染対策協議会総会の概要について、国公立大学及び私立医科大学の協議会に協会代表として出席した委員から報告があり、引き続き、「歯科診療における院内感染対策に関するアンケート調査」の結果について、まとめを担当した委員から説明があり、情報を共有したとの報告があった。

（7）「広報戦略」事業、第13回歯科プレスセミナーについて

1. 第13回歯科プレスセミナー（R4.10.17）を、アルカディア市ヶ谷を会場にハイブリッド方式にて開催し、①『意外と知らない「歯科医師という職業」～現状と魅力、超高齢社会で果たす大きな役割』～②「健康寿命を延伸する口腔機能の役割」をテーマに、それぞれ、櫻井 孝常務理事（神奈川歯科大学学長）及び岩手医科大学歯学部 小林琢也教授が講演を行い、19名の記者等の出席があった。

また、記者等とは別に、会員校の教職員66名の参加があった。

2. 第3回理事会（R4.11.25、WEB会議）において、羽村専務理事から、資料により、第13回歯科プレスセミナーについて、開催概要の説明があった。

引き続き、白石事務局長から資料により、経費について、業務委託先の電通PRコンサルティングへの支払いは、715万円を見込んでいること及びこれは、前年度よりも約190万円増えており、増加の要因としては、SNSによる事後公開方法をこれまでのFacebookに加えて、新たにYouTubeでも公開することとしたこと、公開のための動画を短編と長編の2本制作したこと、ハイブリッド方式による開催に伴い、会場借料が増えたことなどによるものであるとの説明があった。

3. 第4回理事会（R5.2.20、WEB会議）において、羽村専務理事及び白石事務局長から資料により、第13回歯科プレスセミナーの報道効果等について、広告換

算で、事業実施委託費715万円に対して約1,198万円の効果があったこと、SNSに投稿した動画について、広告扱いとして掲載したこともあり、令和4年12月末現在で、長編動画約10.1万回、短編動画約31.8万回の再生回数となっているとの説明があった。

このような効果を踏まえ、引き続き、令和5年度に第14回歯科プレスセミナーを実施することについて意見を求めたところ、本田副会長から、高校での説明会の際に活用するための動画提供への謝辞とともに、内容が大変良いものとなっていることから、来年度も引き続き、実施することを支持するとの意見があった。

これらのことから、令和5年度に第14回歯科プレスセミナーを実施することを承認した。

4. 第95回臨時総会（R5.3.23、WEB会議）において、羽村専務理事から、資料により、第13回歯科プレスセミナーについて、開催概要及び費用対効果についての説明があった。（別記1）

（8）私立歯科大学（学部）の財政等の現状について（令和3年版）

加盟大学から資料の提供を受け、令和3年版を作成し、令和4年度第1回経営部会（R4.12.7、WEB会議）において、情報を共有した。

（9）広報発行（第84号・第85号）について

1. 令和4年度第1回広報委員会（R4.7.7、メール会議）を開催し、協会広報「第84号及び85号」の掲載内容について協議し、従来通り年2回発行すること及び掲載項目については、前年度と同様とすることなどを決定した
2. 前年度と同様の掲載項目で、広報第84号を令和4年9月付け、第85号を令和5年3月付けで発行した。（別記2）

【掲載項目】

1. 巻頭言
2. 大学のニュース
3. 事業概要
4. 日本私立歯科大学協会関係の諸会議
5. 叙勲
6. 訃報
7. 人事異動消息
8. 協会役員・部会・委員会名簿
9. 一般社団法人 日本私立歯科大学協会加盟名簿
10. 賛助会員企業紹介
11. 編集後記

(10) 受験生確保対策事業について

①受験生確保対策委員会

令和4年度第1回受験生確保対策委員会（R4.4.27、WEB会議）を開催し、従来からの受験生確保対策事業の継続実施及び「歯学部へ行こう!!2023」の作成等について、協議した。

②高等学校等への入試関係資料の送付

例年どおり、令和5年度入試日程及び大学一覧などの資料を、令和4年11月下旬に、高等学校4,173校及び受験予備校136校に送付した。

③「医歯薬進学5月号」への広告掲載

例年どおり、株式会社 玄文社発行の「医歯薬進学5月号」に、高校生向けの広告を掲載した。（別記3）

④「医療系大学データブック2023」への寄稿

例年どおり、10月に株式会社 大学通信から発行される「医療系大学データブック」に、羽村専務理事からのメッセージを寄稿し、掲載した。（別記4）

⑤協会ホームページによるPR

令和2年10月にリニューアルした協会ホームページの、全入試日程及び各大学入試要項のコーナー等を活用して、入試情報の広報に努めた。

⑥高校生向け冊子「歯学部へ行こう!!」の配布

1. 第1回理事会（R4.5.24、ハイブリッド会議）において、本田副会長から、「歯学部へ行こう!!2022」は、理事会で承認いただいたとおり、送付先と送付部数などを見直し、

(1) ダイヤ書房に委託して、約6万部を全国の主要高校の進学情報提供ボックス(WingBox)を通じて、5月上旬から配布

(2) 進研アドを通じて、歯学部、薬学部、医療系学部を志願している高校1年から3年生の自宅に11,500部を4月22日に送付

(3) 新たにダイヤ書房を通じ、WingBox未設置の進学校834校の進路指導部に各10部、計8,340部を5月上旬に送付

したとの説明があった。

引き続き、私立歯学部の志願者数はここ数年の減少から、令和4年度は、ほぼ横ばいの状況となったが、18歳人口の減少などの影響で、今後も厳し

い状況が続くと思われることから、受験生確保対策として、本事業は協会事業として継続して実施する必要があると考えており、「歯学部へ行こう!!2023」の作成について、ご承認いただきたいとの提案があり、これを承認した。

櫻井常務理事から、「歯学部へ行こう!!2022」の内容について、資料として、病院に勤務する歯科医師の平均年齢が掲載されているが、2023版では、歯科医師全体の平均年齢や近年、歯科診療所が減少していることを示した方が、高校生の進学意欲向上に繋がるのではないかとの意見があり、本田副会長から、検討することとしたいとの回答があった。（別記5）

2. 第3回理事会（R4. 11. 25、WEB会議）において、本田副会長から資料により、来年4月に配布を開始する、「歯学部へ行こう!!2023」の配布先について、本年4月と同様の配布部数・配布先としたいとの提案があった。

引き続き、白石事務局長から、本年と同様とした場合の必要経費については、本年と同額の見込みであるとの説明があった。

これらの説明を踏まえ、提案どおり、これを承認した。

⑦入学志願者の状況調査等

1. 第1回理事会（R4. 5. 24、ハイブリッド会議）及び第94回定時総会（R4. 6. 29、WEB会議）において、川島総務課長から資料により、協会で行きまとめた、令和4年度入試結果について、志願者が前年度に比べて、+174人（+2.3%）微増していることなどの説明があった。
2. 第4回理事会（R5. 2. 20、WEB会議）において、川島総務課長から資料により、2月6日現在の令和5年度入学志願者の状況について、学校推薦型入試については前年最終人数と同数の577人となっていること、総合型選抜等については前年最終人数より+28人の418人となっていること及び一般選抜等については、対前年度同時期に比べて△452人（△8.2%）の5,076人となっているとの説明があった。
3. 第5回理事会（R5. 3. 23、WEB会議）及び第95回臨時総会（R5. 3. 23、WEB会議）において、川島総務課長から資料により、令和5年度入学者志願者・受検状況（中間状況）について、3月17日現在において、志願者数が前年度の最終志願者数に比べて、△383人（△4.9%）となっていることなどの説明があった。

(11) 第 84 回私立大学歯学部学生生活協議会について

1. 第 84 回私立大学歯学部学生生活協議会 (R4. 9. 29~30) を、松本歯科大学を開催当番校として開催し、城西国際大学副学長 兵頭英治氏による「悪質クレーマーについて考える」の講演及び各大学から提出された議題について、現状報告と情報交換を行った。
2. 第 3 回理事会 (R4. 11. 25、WEB 会議) 及び第 95 回臨時総会 (R5. 3. 23、WEB 会議) において、大友副会長から、第 84 回私立大学歯学部学生生活協議会の概要について報告があった。

(12) 研修事業について

① 研修委員会

令和 4 年度第 1 回研修委員会 (R4. 7. 15、WEB 会議) を開催して、令和 4 年度に開催する研修会の開催内容等について協議し、第 15 回事務職員研修を、11 月中旬に「働き方改革を受けた業務の効率化」をテーマとして開催すること及び講演 2 件の講師候補者などについて決定した。

また、第 43 回附属病院管理運営事務研修会について、開催当番校の岩手医科大学から、10 月 20 日に WEB 会議方式で開催すること及び開催概要についての説明があった。

② 第 43 回附属病院管理運営事務研修会

1. 第 43 回附属病院管理運営事務研修会 (R4. 10. 20、WEB 会議方式) を、岩手医科大学歯学部を開催当番校として開催し、「各附属病院の患者苦情等の事例紹介」として情報交換を行うとともに、各大学から提出された議題について、討議を行った。
2. 第 3 回理事会 (R4. 11. 25、WEB 会議) 及び第 95 回臨時総会 (R5. 3. 23、WEB 会議) において、櫻井常務理事から、第 43 回附属病院管理運営事務研修会の概要について報告があった。

③ 第 15 回事務職員研修

1. 第 15 回事務職員研修 (R4. 11. 14、WEB 会議方式) を開催し、文部科学省高等教育局歯学部私学行政課 片見悟史氏による「私立学校法改正法案骨子の概要について」及び大学経営コンサルタント・新島学園短期大学学長 岩田雅明氏による「これからの大学職員に求められるもの」と題した二つの講演の後、

事前に各大学から提出された事項について、情報交換を行った。

また、講演については、研修出席者に加えて、15名の希望する会員校職員が視聴した。

2. 第3回理事会（R4.11.25、WEB会議）及び第95回臨時総会（R5.3.23、WEB会議）において、櫻井常務理事から、第15回事務職員研修の概要について報告があった。

(13) 新型コロナウイルス感染症への対応について

①私立歯科大学・歯学部におけるワクチン3回目接種の進行状況調査

1. 令和4年3月1日から、開始した「私立歯科大学・歯学部におけるワクチン3回目接種の進行状況調査」を引き続き行った。
2. 第2回理事会（R4.6.29、ハイブリッド会議）において、白石事務局長から、本年3月から実施している、「私立歯科大学・歯学部におけるワクチン3回目接種の進行状況調査」について、最近、あまり情報に変更がないので、6月20日現在の調査を以って、終了することとしたいとの説明があり、これを了承した。

これにより、当該調査を6月20日の調査を以って、終了した。（別記6）

②日本歯科医師会が実施する「歯科医師によるワクチン接種」実績調査への協力

日本歯科医師会が実施する「歯科医師によるワクチン接種」実績調査について、各会員校に調査への協力依頼をし、毎月、調査結果を情報共有した。

(14) 災害歯科保健医療連絡協議会について

1. 第3回理事会（R4.11.25、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、8月10日に開催された第15回災害歯科保健医療連絡協議会において、JDATの活動要領や創設日を令和4年3月2日とすることなどについて協議・決定されたとの報告があった。

また、白石事務局長から資料により、日本歯科医師会主催の令和4年度災害歯科保健医療体制研修会及び災害歯科保健医療アドバンス研修会の受講希望者の推薦を各会員校に依頼したところ、災害歯科保健医療体制研修会については5名の推薦があり、全員が受講対象者となったこと及び災害歯科保健医療アドバンス研修会については3名の推薦があったが、協会の受講者枠が原則2名となっていることから、推薦順位を付して推薦をし、現在、順位3番目の方の受講可否の連絡待ちとなっているとの説明があった。

2. 第4回理事会（R5.2.20、WEB会議）において、白石事務局長から資料により、前回の第3回理事会時に、令和4年度災害歯科保健医療アドバンス研修の受講者について、協会から3名推薦し、2名は受講が決定しているが、あと1名は日本歯科医師会で調整中との報告をしていたことについて、他の参画団体の空いた受講枠を充てていただき、最終的に3名の受講が可能となったとの報告があった。

3. 第5回理事会（R5.3.23、WEB会議）において、白石事務局長から資料により、2月22日に開催された、第16回日本災害歯科保健医療連絡協議会について、令和5年度は災害歯科保健医療体制研修会が従前どおり、全国3ブロックに分けて開催されること及び災害歯科保健医療アドバンス研修会が従来の1回から全国を2ブロックに分けて、2回に拡充して開催されることなどの説明があった。

また、災害歯科保健医療体制研修会修了者の終了者リストへの登録は5年間となっており、2018年度修了者について、登録の継続を希望する場合は、再受講又はeラーニングの受講が必要となるので留意いただきたいとの説明があった。

4. 第95回臨時総会（R5.3.23、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、令和4年度災害歯科保健医療体制研修会及びアドバンス研修会については、各会員校から推薦のあった方、全員が受講できたこと、JDAT（日本災害歯科支援チーム）が発足したこと及び各都道府県においても災害歯科保健医療連絡協議会の設置が進められていることの説明があった。

(15) 日本私立歯科大学協会賛助会員の退会について

令和3年度末を以って、日本治水株式会社が賛助会員を退会した。

(16) 日本私立歯科大学協会後援名義使用許可等について

1. 第3回理事会（R4.11.25、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、私立医学部・歯学部予備校メルリックス学院が開催してきている、歯学部合同相談会が、本年7月18日に開催され、協会会員校13校が参加し、49名の高校生等が出席したこと及びこの度、メルリックス学院から、高校生等の出席者の増加に繋げるため、協会の後援名義使用許可についての相談があり、メルリックス学院には、これまで、私立歯科大学・歯学部の受験生確保に協力いただいていたことを勘案して、申し出のとおり、協会の後援名義使用を許可することとしたいとの提案があり、これを承認した。

2. 第5回理事会（R5.3.23、WEB会議）において、羽村専務理事から資料により、一般社団法人 日本口腔検査学会主催「国民皆歯科健診について考えるキックオフミーティング」への協会の後援名義使用許可の提案があり、これを承認した。
3. 継続事業である、文部科学省が実施する令和5年度「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」への協力名義使用並びに日本歯科医師会が開催する「令和4年度災害歯科保健医療体制研修会」及び「令和4年度災害歯科保健医療アドバンス研修会」への後援名義使用について許可をした。

(17) 私学関係諸団体との提携・協力及び援助について

知識と技術の向上を図り、歯科医療の発展に寄与することを目的として活動を行っている下記の5つの団体に対して、その活動を後援するため、各10万円の助成金を交付した。

- 全国私立歯科大学・歯学部附属病院看護部長会
- 全国私立歯科大学附属病院薬剤部長会
- 日本私立歯科大学・歯学部附属病院歯科技工士協議会
- 日本私立歯科大学・歯学部附属病院歯科衛生士協議会
- 全国私立歯科大学・歯学部附属病院診療放射線技師代表者会